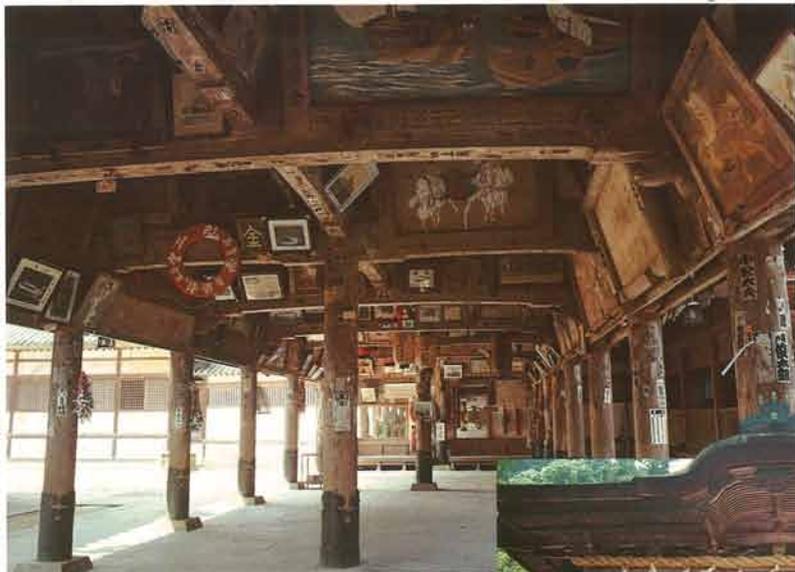


マリンストアニュース

YAMAHA No.30 '82-10-11

讃岐路

絵馬堂



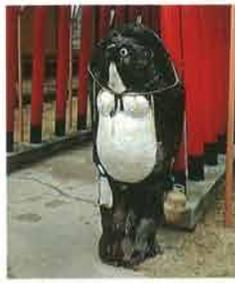
の中腹の御本宮まで七百八十五段。奥の宮まで登りつめると千三百六十八段だとい
うが、ご勘弁ねがうことにする。御本宮の前庭は高台になっていて讃岐盆地が見わた
せた。息がはずみ、汗ばんだ額に秋風がふたつた。
海難を救われたという塩飽島の漁師たちに「こんぴら信仰」の起きたのが十五世紀頃
で、次郎長親分の代参で森の石松がお参りに来た江戸時代末期には、海の守り神様の
霊験譚は全国にくまなく伝わっていて、厚い民間信仰をつくりあげていたのである。
絵馬堂にかけられた奉納物は、さすがに船にかんする物が多い。船絵馬や船の写真は、
もちろんのこと、大漁旗、舵、碇、ブイ、漁網などがあつた。瀬戸内海沿岸の漁業者
は船おろしをすると金刀比羅参詣をする。近代企業である商船会社も新造船の進水式
を無事おえると、大きな写真額を奉納して海上安全を祈願するのである。

船絵馬

「こんぴらさん」の金
刀比羅宮へは琴電で
行きなはれ、と教え
られた。高松から琴平電鉄で約一時間、終点でお
りる。旅館と土産物屋が両側にならぶ門前町をぬ
けて行くと、有名な石段が待ちかまえていた。山



明神に祀られるハゲ狸。いわゆる阿波狸の血脈をひいて
いると云ふ。その昔、源平合戦
のさいちゆうに流れ矢をうけ
て息たえたえでいたところを、
平家の武将小松重盛に助け
られ、その恩に感じてハゲ狸
は平家の守護を誓ったといふ。



これは、屋島寺境内の糞山大
屋島のハゲ狸
の方には愛嬌があるので救われる。威儀を正した大名行列をだますよう
な反抗精神があるかとおもえば、娘の姿になつても着物に体毛のシマ柄
をちゃんを残しておく律義さを忘れない。四国は狸の多いところだ。
言つても、生きている奴ではなくて、狸にまつわる民話が豊富なのだ。



栗林公園 国の指定した、特
別名勝で、瀬戸
内海国立公園の一部にふくまれている。
二万一千坪の園内には六つの池と十三の
丘が巧みに継がり、松林、珍石、橋、数
寄屋が配置されて、散策の歩をはこぶに
つれて六十余景がくりひろげられる。高
松駅から車で七分たらずの便利なところ
なので、ウィークデイにも家族連れや子
供たちの姿が絶えない。写真は、南湖に
面する茶室の「掬月亭(きくげつてい)」。
湖面に映える月の眺めが素晴らしいので、
「水を掬すれば月掌にあり」の詩句からと
つて名づけたといわれる。月は見なかつ
たけれど、池の面をすべる白鳥の姿が、
しばし街の喧騒を忘れさせてくれた。

'83 ヤマハボート & ヨット 予約セール

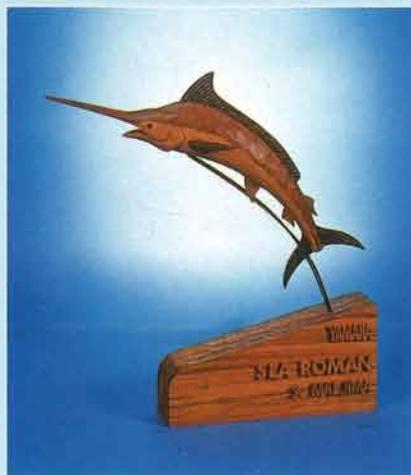
— 実施中 —



海を愛し、マリンレジャーの育成に取り組むマリンストア皆様の期待にこたえて、ヤマハは、さきごろ“83ニューモデル”を発表しました。

ことしのニューモデル3艇種は、いずれもデザインの品格を高め機能を充実させて、ユーザーを多彩な海のレジャーへ誘おうとしています。きっと、マリンストア店頭で、話題を呼びます。

秋から冬にかけての半年間は、来年のボート&ヨット販売を決定的にする重要な拡販シーズン。「予約セール」で、新しいマリンライフを演出してください。



ヤマハオリジナル シーロマンウッドコレクション プレゼント!

予約セール期間中に19フィート以上のボートを契約いただいたお客様へ、お名前と愛艇名を浮彫りにした素敵な木彫りの置物をプレゼントしています。



ヤマハ和船・船外機・ドライブ船

ヤマハ秋の大漁キャンペーン

本格的な秋の需要期まっただなかです。ことしヤマハは、「斬新なデザインの汎用和船」「省燃費の大型ケロシン船外機」「本格漁にこたえるドライブ船」など、数々の話題商品をおとどけてきました。これら戦略重点商品の中軸とし、安全点検をはじめ展示会や試乗会あるいは店頭PRを通じて、力強い拡販をすすめてくださるようお願いいたします。



ヤマハマリンストアヒーローインタビュー

キマジメ社長の

でっかい構想

香川県高松市(有)瀬戸内マリン 畑田 英基社長(31歳)

今 回の取材では、珍しいものを見せても

らった。小じんまりした一階の事務所・ショールームをとおりにぬけて、

突当りのドアをあけると、奥にもう一つ部屋があって、そこ

には、スペースいっぱい

にコンクリートで固めた水槽がつくられています。船外機のテスト用タンクにしては、ちょっと大きすぎるではないか。

「スキングダイビングの練習用プールですよ」

畑田社長は、去る七月に新社屋を竣工させたばかりなのですが、やっと念願のプールをつくることのできたとニンマリするのです。

(有)瀬戸内マリンは、ことし創業六年目。四国の玄関口

であり、経済・文化の中心地である三十万人の近代都市、高松

市をひかえて、「トータルなマリンスレジャー基地をつくりたい」というのが畑田社長の抱負なのですが、それをどう具体化しようとしているのでしょうか。畑田社長の思い描いているマリンスレジャー基地の姿と、それに到達するための方法を、小さなブルーが雄弁に語っているようです。





漁師さんに励まされて 船外機修理から始めた

穏 やかで親切な人です。仕事のあいだも度々時間を割いて、うるさい質問に答えてくれたし、建網漁の撮影のときは漁師さんのところへ行って丁寧な頼み方をし、準備を万端ととのえてくれた。

工場でエンジンの修理に余念のない三人の社員に社長評を聞くと、「とにかく真面目。ほかに言いようはないですね」と口をそろえる。奥様の節子さん(30歳)は「生真面目なところがウチの人の魅力」と言う。タバコはやらず、酒は付き合ひのときだけホンの少々。自慢話など、なかなか出てきません。趣味は、五年前に始めたダイビングだけだが、これもいまは仕事のうちに入る。こういうタイプの人をインタビューするのは、むつかしいのだなア。ところが、宿へ帰って取材メモのなかから畑田社長の経歴をまとめて見ると、それまでほんやりと感じられていた「あること」がハッキリ見える気がしました。

畑田社長は、自分の「運」を強く信じて、青春を力いっぱい生きてきた人にちがいがありません。

十八歳▼普通高校を卒業するとオートバイメーカーへ入社。技術サービス部門に勤務。

二十一歳▼町の青年会のバトミントンクラブで節子さんと知り合う。

二十四歳▼結婚(節子さんは一ヶ年下)
二十六歳▼長女誕生。この年、技術サービスマンとして八年間働いた会社を退職して独立。生まれて育った香西町に船外機販売店を

開業した。

二十七歳▼ダイビングを始める。

二十八歳▼現在地の神在川窪町に土地を購入して事務所を移転。二十坪の修理工場を設ける(開業三年目)。

三十一歳▼新社屋を建設。マリナーナオプン。社員四人を新採用(開業六年目)。

よく「桃栗三年、柿八年」といいますが、一つのことを実を結ぶのにはそれなりの年月が必要なもの。畑田社長の経歴は、自分の体験をジックリ時間をかけて育てるといって、誰が見てもよく分かるケジメのはっきりした生き方を示しているではありませんか。

それから実行力。結婚して、長女が産れた年に独立開業したのですが、畑田社長は、「あの時もいまも、マリン商売を選んだことを後悔したことはない」と言います。実が熟したと見たら、さっさととぎとってモノにしてみました。

* * *

一階ショールームには水上スキーやダイビング用具、マリンスポーツの小物用品がズラリ。ドアの向うは、三・五畳×三・五畳、深さ四・五畳のダイビング講習用プール。二



おしどり夫婦の自慢のタネは珠見ちゃん(6歳)と英理佳ちゃん(4歳)の2人娘。「あまり遊んでやれないけれど社屋の2階が住まいなので、いつでも顔を見ることができます」

ダイビング練習用プール



ボート保管場



右から▶畑田社長、節子さん、多田さん、山地さん、川原さん、国見陽子さん(26歳)。国見さんは、畑田社長のいとこだが、喫茶「船」のサービスをまかされている。マリナが充実するにもなつて重要な役割をはたす「憩いの場づくり」をいまから始めているのだ。

瀬戸内マリナは こんなストア

TEL 0878(82)7715

- 開業…昭和52年
- 店舗…敷地800坪

(1)ショップ▶

- 1階 ショールーム・事務所 5坪
- // プール 5坪
- // 修理工場 20坪
- 2階 軽食喫茶「船」14坪
- 3階 ミーティングルーム12坪

(2)ボート保管場▶570坪

(3)駐車場▶200坪

- 商圏…高松市西部の西浜、香西、下笠居地区の漁業者700人と高松市内を中心とするプレジャーのユーザー約200人が対象顧客。
- 販売…去年の販売実績は109台隻であった。これは畑田社長が奥さんと2人で上げた数字。商品別構成は、ほぼ、船外機70%、ボート25%、和船5%である。業務用船外機の高馬力化がすみ、業務とレジャーの売上比率は40%対60%。
漁業内容は、ノリ養殖、小型定置網(ボラ)、建網(カレイ、チヌなど底魚)、魚類養殖(チヌ)であるが、ノリ養殖と建網が主力。和船、船外機の主力商品はW-20FF(40FEM)とW-23DF(40FEM)。
レジャーは、ボート釣りが圧倒的。

●販促活動…

ボート免許教室とダイビング講習会を定期開催して、新しいユーザー層の開拓に努めている。いっぽう漁業に目を向けると、最近は兼業漁家が増えて売上は横ばいを示しているが、兼業漁家の和船を休漁期のあいだマリナ内に預る保管サービスを実施し、都市近郊型漁村の近年の変化に積極的に対応する意欲的な構えを見せている。
漁船販売に示す意欲も、前向きの姿勢のあらわれ。今年、網漁と養殖兼用の小型汎用ヤマハ漁船DX-31(ヤマハディーゼルMD340K搭載)を14隻販売する実績を上げた。

軽に集ってくる「瀬戸内マリナ」に仕上げ
ボート釣り、ランナバウト、ダイビング、水上スキーそしてヨット——さまざまな年齢、いろんなタイプのお客さんが、誰でも気軽に集ってくる「瀬戸内マリナ」に仕上げ

大小の島々のちらばる瀬戸内海はボートダイビングに絶好の舞台です。目下おすすめめ畑田さんは若い仲間とダイビングを楽しみましたが、彼らのなから、いままでは違ったタイプのマリナレジャーファンが出てくることを期待するのです。

階は軽食喫茶ルーム。そして三階にヤマハボート免許教室とダイビング講習会を開くミーティングルームがあります。
現在プレジャーボートの販売はF-22ないしF-24が主体で、すでに七十隻をマリナに保管していますが、マリナレジャーは釣りだけでは弱いと畑田社長は考えた。ボート免許教室は毎月一回開催するが、それとおなじくらい力を入れるのがダイビング講習会です。専属講師を招いて年に二十回ひらく計画を立てた。いずれ、PADI(プロフェッショナル・アソシエーション・ダイビング・インストラクターズ)の資格免状が取れるようにしたい。もちろん畑田社長は一番に取るつもりです。

たいのです。
過去六年間、販売台隻数、売上金額とも順調に伸ばせたが、それは、ノリ養殖と建網を主力にする漁師さん七百人が営業をしつかり支えてくれたからです。
「独立するときバイク販売店をやるうかと思つたが、土地に船外機の修理工場がないからお前がやれと漁師たちに励まされました。生れて育つた故郷でも商売となれば話は別。やっていけるかなと何度も迷いましたが、サービスクでコツコツ続けるうちにやっとお客さんの手ごたえを感じた時があつて、その時は本当にホッとしました」
新しく入社した山地義輝さん(27歳)、多田知弘さん(26歳)、川原晃司さん(24歳)の三人には、船外機からディーゼルまでの修理技術はもちろんのこと、マリナ管理業務までふくめてトータルのサービスクをしっかりと身につけてもらおう、という経営方針です。
六年前に父親の保証で農協から借りた三百万円が開業の資本金でしたが、現在、銀行の借入金残高は二千万円。四十歳になるまでに完済したいともらっていました。が、「明るい女房と仕事熱心な協力者(社員みなさんのこと)が何よりの支え」と語る畑田社長なら、それ以上のことをやりとげるでしょう。

たいのです。
過去六年間、販売台隻数、売上金額とも順調に伸ばせたが、それは、ノリ養殖と建網を主力にする漁師さん七百人が営業をしつかり支えてくれたからです。
「独立するときバイク販売店をやるうかと思つたが、土地に船外機の修理工場がないからお前がやれと漁師たちに励まされました。生れて育つた故郷でも商売となれば話は別。やっていけるかなと何度も迷いましたが、サービスクでコツコツ続けるうちにやっとお客さんの手ごたえを感じた時があつて、その時は本当にホッとしました」
新しく入社した山地義輝さん(27歳)、多田知弘さん(26歳)、川原晃司さん(24歳)の三人には、船外機からディーゼルまでの修理技術はもちろんのこと、マリナ管理業務までふくめてトータルのサービスクをしっかりと身につけてもらおう、という経営方針です。
六年前に父親の保証で農協から借りた三百万円が開業の資本金でしたが、現在、銀行の借入金残高は二千万円。四十歳になるまでに完済したいともらっていました。が、「明るい女房と仕事熱心な協力者(社員みなさんのこと)が何よりの支え」と語る畑田社長なら、それ以上のことをやりとげるでしょう。

たいのです。
過去六年間、販売台隻数、売上金額とも順調に伸ばせたが、それは、ノリ養殖と建網を主力にする漁師さん七百人が営業をしつかり支えてくれたからです。
「独立するときバイク販売店をやるうかと思つたが、土地に船外機の修理工場がないからお前がやれと漁師たちに励まされました。生れて育つた故郷でも商売となれば話は別。やっていけるかなと何度も迷いましたが、サービスクでコツコツ続けるうちにやっとお客さんの手ごたえを感じた時があつて、その時は本当にホッとしました」
新しく入社した山地義輝さん(27歳)、多田知弘さん(26歳)、川原晃司さん(24歳)の三人には、船外機からディーゼルまでの修理技術はもちろんのこと、マリナ管理業務までふくめてトータルのサービスクをしっかりと身につけてもらおう、という経営方針です。
六年前に父親の保証で農協から借りた三百万円が開業の資本金でしたが、現在、銀行の借入金残高は二千万円。四十歳になるまでに完済したいともらっていました。が、「明るい女房と仕事熱心な協力者(社員みなさんのこと)が何よりの支え」と語る畑田社長なら、それ以上のことをやりとげるでしょう。

創業者の企業理念が

会社の成功を守る

㈱日本フランチャイズセンター代表 田中直隆

芸能、スポーツあるいは芸術の世界では、きのうまで無名だった人が成功して一躍有名になることがある。ところが奇妙なことに、それから一年たつたためかの間に名前が聞かれなくなり、そのまま永久に消えてしまったり、ひどいときには不道徳な過ちをしてマスコミから叩かれ、醜聞をまきちらしたりする。そういうことがよくある。成功がペロリと彼をひと呑みにしたというわけだ。

おそらく彼に足らなかつたのは「成功の哲学」である。あるいは、こう言い変えてもおなじ意味になるが、彼はまだ「失敗の哲学」を持ち合わせていなかったのである。しっかりと思想を固めないうちに成功の舞いこんだのが、悲運だったと言えるだろう。

このような出来事が企業に起ると、その被害は社員と彼らの家族にまでひろがるので、経営者の罪は大きい。アイデア商法で大当りをとったけれど二年で倒産という手合いが、その口になる。



玄海灘に浮ぶ壱岐島の勝本浦は一本釣漁村として有名だが、ここには昔、沖船頭と呼ばれる人がいた。毎朝浜へ出て空模様を眺め、部落中の漁船がその日出漁するかしないかを決める権限を持っているので、八百のカマドをあずかる大役とされた。かつて沖船頭を無事つとめ上げたという一人の古老は、こう言った。

「漁師なら、誰でも大漁をしたい。しかし、日々の安全が大漁をまねいてくれるのだ」

目のつけ所 腕の振り所 …6

小さな会社を経営する秘訣

これが、彼の「成功の哲学」である。世間には「社訓」を制定している会社が多くなくない。なかには、歴史の長い会社では昔の「家訓」をそのままひきついでいるところがある。また現代の実業家のなかにも（株）ワコール社長の塚本幸一氏のように、自分でつくった「家訓」を子息に与えているような人がいる。

塚本家の家訓

一、祖先を尊び現在に感謝し子孫の繁栄を計

ること

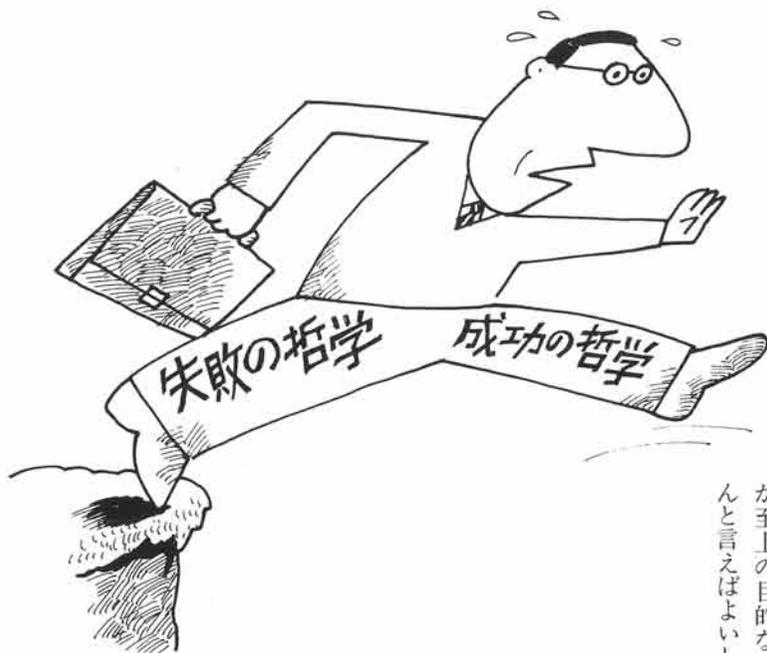
二、本家あつての分家である事を自覚し本家との共存共栄を心がけること

三、無駄や浪費を慎み健全なる家計を旨とし資産の蓄積を計ること（以下省略）

いちがいに古いときめつけることはできないので、これを定めた創業者の心事に思いをよせて考える価値はあるのだ。

社訓は、経営者が自らの「成功の哲学」を宣言するものである。

会社の社長は壱岐勝本浦の沖船頭とおなじで、「やらなければならぬこと」と「やってはいけないこと」を区別して決定する責任を負う。正しく判断するために、いつも自分の思想の灯を輝かせておかねばならないのだ。そして、重要なのは、一連の語句をつうじてこの会社は何を最高の目的に据えるかという価値観をハッキリと示すことである。金儲けが至上の目的なら、わが社は金儲けがいちばんと言えばよいし、顧客が大切ならそう言わな



ければならない。この宣言が会社の顔をつくる。言葉をかえると、企業アイデンティティを確立するのである。

多くの会社の社訓は、事業を軌道に乗せることができずホッと一息入れたところでつくられたのではあるまいか。創業当時の苦勞を思いかえし、その頃抱いていた考えがまちがっていなかったと自信を固め、未来へ向って勇氣と謙遜をもって事業をすすめようと肚をすえた人間が吐いた言葉だ。

本屋へ行くとき格言集や語録はたくさん並んでいるが、あなたの会社の社訓は自分でつくらなければならぬ。嘘もカケ値もないあなたの経験のなかから叩き出すことだ。独立と創業の道を摸索した時の情熱が、正しい「社訓」を考え出させてくれるだろう。

いろいろな会社の社訓を読みくらべて見ると、言葉はさまざまであるが、そこに一つの共通した構造があることに気付かせられる。まず、会社の永続と成長を願う心が述べられている。つぎに、自己研鑽・努力・創意工夫などの言葉によって、社長も社員もひとしく果たすべき責任が謳われている。最後に、会社が閉鎖的な集団ではなく、社会へ向って開かれた共同体であることに注意をうながすのである。

社訓は、なにも額に入れて壁に飾っておかなくてもよいが、いまあなたに協力して働いている社員には機会あるごとに耳へ吹きこんでおいた方がよい。いつの日か、彼らのなかから、あなたの思想を受けついで会社を守ろうとする人物が育ってくるからである。

市場カメラルボ

いま備讃瀬戸では

建網漁



KA3-24109

た

くさんの鳥々が点在して
いて、瀬戸の潮は速い。

晩春から初夏にかけては色んな
魚が産卵のため内海に入り込ん
でくるので、旬(しゅん)の漁が
忙しい。なかでも、5月のサワ
ラ流し網漁が有名だ。

夏から秋のあいだはマス網(小型定置)や
建網で漁をする。カレイ、チヌ、ボラ、コノ
シロなど種類が多い。9月半ばを過ぎるとノ
リ養殖の準備があわただしくなるが、そのあ
いだをぬって網あげに出かけるのである。



▲W-25CF

網

漁とノリ養殖の兼用で20〜25尺級の和
船を使用する。船外機は40〜55馬力。
ヤマハ和船は従来W-20FFとW-23DFが普
及してきたが、さきごろ、それよりひとまわ
り大きいW-25CFが発売された。この船は、
備讃瀬戸のノリ養殖を主要対象として開発し
た船型なので、瀬戸内マリンの畑田社長は販
売に大きな期待をかけている。



プレジジャーボートの 格納点検を忘れずに

格納点検はマリンストアがおこなう有償サービスですが、その重要性についてユーザーさんの意識はまだまだ低いと言っているのが、マリンストアのみならず根気よく啓蒙することが大切でしょう。

ではプレジジャーボートの格納点検は、どこを重点におこなったらいのか、その要点をあげておきましょう。日常の作業点検と定期点検は確実に実行されているものとして話をすすめます。

第一に考えなければならないのは、海水と緑を切るということです。艇を水から上げるとだちに清水をザブザブ注ぎながら海草やフジツボ、水アカを洗い流します。乾いてこびりついてしまったのを取ろうとすると塗装を傷つけるからです。エンジンの冷却装置から塩分をすっきり洗い出さなくてはなりません。

つぎに、エンジンウオータージャケット、ウオーターポンプなどの冷却系統から水を抜きます。

これだけのことをすませておいてから、各系統別に防錆処理をほどこし、さらに可動部分へ入念なグリースアップをおこなうのです。

▼燃料系統の防錆処理①ガソリンエンジン
①フューエルホースをはずし、キャブレターから防錆剤あるいはエンジンオイルを少しづつ注入しながらエンジンを止まるまでまわす。
②ディーゼルエンジン▼アイドリング回転にて燃料用防錆油がエンジンに行きわたるまで運転する。また各シリンドラーへ防錆オイルを注入し、数回ターニングをおこなう。

冷却系統の防錆処理②上記のアイドリングによって水分を排出したあと、エチレングリコール系の不凍液を注入しておく。

グリースアップをしなければならないのはつぎの各部分です。

●定期交換部品一覧表

No.	部 品 名	パワーボート	セイルボート モーターセーラー
1	タンクユニット点検孔 などのゴムパッキン一式	2年(200H)	2年(200H)
2	燃料系統各ゴムホース一式	2年(200H)	2年(200H)
3	フューエルタンク本体	3年(300H)	3年(300H)
4	リモートコントロールケーブル	3年(300H)	3年(300H)
5	Vベルト	1年(100H)	1年(100H)
6	インペラ	1年(100H)	1年(100H)
7	ステアリング一式 (ホイールは除く)	2年(200H)	2年(200H)
8	冷却水、排気管ゴムホース	2年(200H)	2年(200H)
9	排気二重管	3年(300H)	—
10	排気サイレンサー	3年(300H)	—
11	ドレンプラグ(B、C型)	1年(100H)	—
12	ドレンプラグのOリング	—	1年(100H)
13	静粛	—	3年(300H)
14	マストタング	—	3年(300H)
15	ターンプラックル	—	3年(300H)
16	グースネック	—	3年(300H)
17	ステアリングワイヤー	—	2年(200H)
18	ティラー	—	3年(300H)
19	ラダー	—	6年(600H)
20	スターンチューブホース	—	2年(200H)
21	ライフライン	—	3年(300H)

船体については、艇体の内外を水洗清掃してハルやデッキなど各部の損傷箇所を補修しなければいけません。大切なのはスイッチボードやケーブルコネクタなどの電装品ならびに艇内外の金物類に防錆スプレーを吹きつけて十分な防錆対策をしておくことです。またバッテリーは取り外して室内へ保管しますが、オフシーズンのあいだに充電しておくことを忘れてはなりません。

プレジジャーボートのエンジンは、酷使して乗りつぶすというようなことは稀にしかおこらないので、むしろ、使わないで放置しておいたために生じる故障に注意しなければなりません。少くとも二週間に一度はボートを走らせてエンジンを正常な運転状態に置くこと、そして、日常の点検をおこなわないこと、これが最良のメンテナンスになります。

しかし、いつも安全・快適にボートを使用できるようにするためには、点検と整備を秩序立てておこなわなければなりません。ボートの点検にはつぎの五種類の点検があります。

- ① 出航前点検
- ② 帰港後点検
- ③ 定期点検(納入前、1カ月目、6カ月目、1年目、2年目、3年目……)
- ④ 格納点検
- ⑤ 使用前点検

さて、秋も深まりました。今月の営業技術だよりでは、とくに格納点検についてお伝えします。地方によっては冬場は海が荒れて出られなくなるし、あるいは海はおだやかでも釣漁が端境期(はぎかいき)に入って自然と足がとおのいたりしますが、ボートを一カ月以上使わないでそのまましておくこと、エンジン内部は油膜切れによる錆発生のおそれがあるし、また冬期には凍結による各部損傷の可能性がある。陸揚げするときは忘れずに格納点検をおこなうのが基本です。また、その際に寿命の切れた部品を交換しておくことが望ましい。



姉さんかぶりとねじり鉢巻

手拭の
使い途が

手を拭うだけではないことは誰でも気がつく。姉さんかぶりをはじめ、さまざまな被りものとして利用されるほか、踊りや落語の小道具にいたるまで、用途は幅広い。このような多方面にわたる利用をみると、手を拭わぬのに手拭とはこれ如何に、といったくなる。

伊豆大島に伝わる鹿島踊の歌につきのような文句がある。

五尺手拭白絞り

染めもイヨコノ

染めも染めたか中絞り

おゆれめでたの若松さまよ

手拭の長さは一反の木綿を十に切るので、三尺と決まっているのかと思つたら、そうとは限らなかったようで、右の歌にあるように、五尺手拭もあったのである。しかし、五尺手拭はもともと手を拭う目的のものではなかったのではあるまいか。

手拭の長さで気づいたことだが、最近の手拭はやや短くなったように見える。タオル地のものにはなっておさらである。商魂のしからしめるところと考えることはできようが、労働する人びとの服装が昔とは大きく変わったことが原因であろう。たとえば、昔の漁師は申し合わせたように、手拭を頭に巻いていたが、現在は手軽な帽子をかぶるようになった。だが、どうかすると、帽子の上にさらにごていねいに手拭を巻いている老漁夫の姿など時として見かける。このスタイルから判断すると、手拭は単なる被りものという機能を持つだけでなく、その他の効用もあるように思えるのである。



漁村の暮しと道具

6

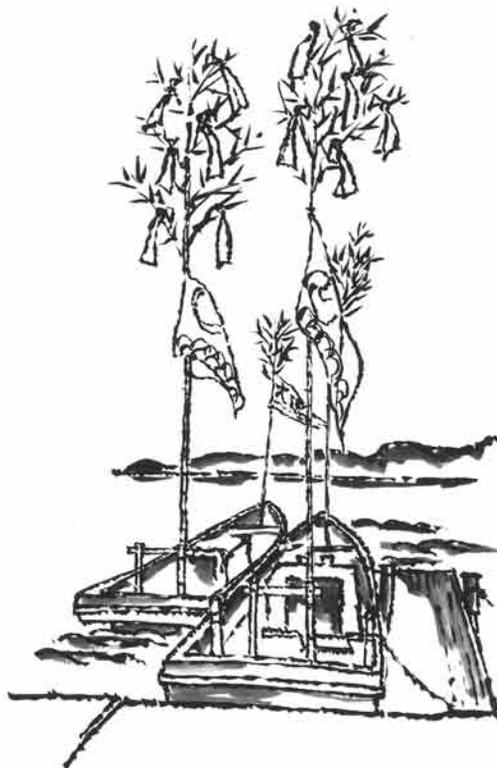
辻井 善弥

漁具か魔除けか

海で生活する漁民の手拭の用途にはたしかに特殊と思われる

ものがある。そのひとつに手拭は海上での信号に利用された。いまはトランシーバーの普及で見られなくなったが、かつての揚線網漁では魚群を発見すると、手船に乗ったウケアイ（船頭）は手拭を持ち、これを振って網船に魚群の発見を知らせたり、方向を指示したりした。サインを送る白い手拭を、関東ではホデといった。ウケアイは出漁する前に、ホデを盆にのせて神棚に供え、手を合せてから、ホデを下げて沖に出たという。

この夏、五島列島へ赴いたおり、捕鯨で知られた有川の港で偶然ささやかな船おろしに出会った。船おろしは、前日に船霊様を船に祝い込める儀式をし、当日船を水上におろして試運転をしたあと餅まきをしたり、酒宴を開いて披露するのが普通である。試運転のとき、船主とか船頭、またはその妻女にわざと水をかけたりするところもある。





有川の船おろしでは、新造船に青々とした竹を立て、その竹に何本もの手拭を結びつけ、それをなびかせながら湾内を三周したあと、餅まきをする。竹に結びつけた手拭にどのような意味合いがあるのか聞くことはできなかったが、この風習は昔からあったという話であった。

新造船に立てた竹にむすぶ手拭は単なる飾りというより、魔除けの呪物としての意味があるのではないか。そう考えたのは、志摩の海女が海に潜る時、魔除けとして、サラシ木綿の磯手拭を額に巻くことを思い出したからである。志摩の菅島ではこの磯手拭は五月前に用意しておくという。五月は神様の月であるとされるからである。

漁民の生活と手拭のかかわりから見ると、古い時代において手拭はその言葉とは異なる用途を主としたように見えるが果たしてどうであろうか。

(日本民具学会関東地区委員・相模民俗学会会員)

コトビツト夜話

秋味

キアジと呼ぶ。

もつとも、「アキアジ」とはアイヌ語の「アキアチップ」が転じたので、「跳びはねる魚」という意味だとの説がある。岩を噛む白波にさかたって溪流を遡上するサケの群を見ると、それは、いかにも「跳びはねる魚」であって、アイヌ語説を支持したくなるのだ。

サケが川を上り始めると、海では「銀毛ぎんげ」と呼ばれていた肌が黒ずみ出し、赤味をおびたまだら模様があらわれ、いわゆる「ブ

鮭漁たけなわである。毎年秋、はるばる北太平洋から北日本へ帰って来るシロサケは、およそ三千万尾。そのうち約二千万尾が沿岸の定置網で捕獲されて食卓に上る。川を上り出す直前のサケは脂が乗り切っていて最高の味。ずばり秋味（ア

ナ）になる。オスは上アゴが突き出て「鼻曲がりサケ」になる。北洋帰りだぞといわんばかりの不敵な面構えなのだ。ひたすら上流の産卵場を目指して、精魂つきはてるまで泳ぐこととする情景が胸をうつ。

* * *

西日本では、サケは塩焼きかフライにするていどだが、東日本とくに北海道ではさまざまなお料理がなされる。頭も身も棄てる。石狩鍋や三平汁の鍋物のほかに粕漬、味噌漬、飯（い）ずしなど。イクラとスジコはおなじみの珍味だが、メフンを知っている人は少ないかも知れない。メフンは腎臓の塩辛。箸でつまんでなめると舌にしばらくのあいだ奥床しい甘味をのこし、チビリチビリ型の飲み助をたまらなくさせる。

身を凍らせて薄切りにしたのをルイベ、また三枚におろして干したものをアダチという。

どちらもアイヌ人の発明した食べ方だ。

* * *

日本では毎年十億尾ちかいサケの稚魚を放流する大規模な人工増殖事業が発達して、そのおかげで今日のサケ漁業の隆盛を見ているのだが、「ウライ」という仕掛けで親魚を捕獲して採卵し、人工孵化させるところから料理にして食べるところまで、いたるところに古いアイヌ民族の知恵が生きつづけている。「アキアジ」の一語に、一つの文化の想いがこめられているようである。



ひとあし先に 南西フィッシングツアー

鬼界ヶ島で豪快に

ボートフィッシングコンテスト

【鹿児島ヤマハボートオーナー会】

各地で熱戦譜をくりひろげた「ヤマハ・ボートフィッシングコンテスト」も、いよいよ大詰めをむかえましたが、ひと足さきに南西フィッシングツアーをおこなった鹿児島支部大会の様をお伝えしましょう。

鹿児島ヤマハボートオーナー会は去る8月7日鹿児島県佐多岬西南50キロの鬼界ヶ島へツーリングをかねたフィッシングコンテストを開催しました。



この島はヤマハリゾートホテル「足摺」でもおなじみですが、周囲14.5キロの小さな島。硫黄岳から流れ出る硫黄が島の近くの海面を異様な色彩に染めています。火山活動が生んだ島なので、かつて海へ流れ込んだ溶岩が島周辺のいたるところに釣りの好漁場をつくっています。

今回は、SC950(3艇)、FC-27(3艇)、STR-28(1艇)など大型艇を中心に12艇、46人が参加。さいわい絶好の日和りと穏やかな海にめぐまれたので、男性的な鬼界ヶ島を背景にスケールの大きな釣りのだいご味を満喫しました。

なお、地元MBCテレビがクルージングとフィッシングコンテストの様を取り、放映したのが、ビッグイベントにさらに感興をそえてくれたのです。優勝者は以下のとおり。

①重量の部優勝

吉留 覚さん 18キロ

②指名魚の部優勝

倉本 勉さん フェフキ鯛



'82バンナムクリッパーカップヨットシリーズ クラスD優勝

ヤマハ-R41カスタムレーサー SUPER WITCH

スーパーウィッチ

世界の強豪を相手に みごとなセイリング

ハワイのオアフ島ワイキキ沖をレース海面にして開かれる外洋ヨットレース「第3回バンナム・クリッパーカップ・ヨットシリーズ」において、ヤマハのカスタムレーサー「スーパー・ウィッチ」(41フィート・スループ)は、いならぶ強豪を相手に堂々と快走、5レースを5-1-1-1-4で終り、みごとなクラスDの優勝、また総合でも6位に入り、ヤマハヨットの高い帆走性能を実証しました。

環太平洋諸国(アメリカ・オーストラリア・ニュージーランド・ホンコン・日本・カナダ)から75隻のビッグボートが参加して行われた大会は、今や世界のヨット界にぎわすビッグイベント。貿易風を相手にハイテクなクルーザーレースをくりひろげた「スーパー・ウィッチ」には、ノースセイルの会長でもあるロウエル・ノース氏が舵をとり、ヤマハレーシングチームの箱守・東島両選手も参加、その名スキッパーふりと絶妙のコンビネーションでコンスタントな成績を残しました。

「ウィング・オブ・ヤマハ」(太平洋横断シングルハンドレース)にはじまり、クォータートワールドの「マジシャンV」の優勝につづく今回の快挙は、広く国際舞台でのヤマハクルーザーの高性能ぶりを示したのです。

'83年シーズン向け ヤマハ新艇発表

ヤマハは去る9月10日ヤマハマリーナ浜名湖にヤマハ特約店および報道関係者を招いて、'83年シーズン向けのヤマハ新艇発表会を挙行了しました。

'83年向けヤマハ新艇は、小型プレジャーボートのニューモデル艇3艇、モデルチェンジ艇7艇をはじめヤマハ和船2艇種。いずれも多様化し、より本格化するユーザーニーズに対応して高級感あふれるデザインを目指し、仕様の充実化をはかったものです。

当日は発表説明会のあと試乗会がおこなわれ、スピード感と安定性あふれる走航が参加者みなさんに強い印象をあたえました。



大漁祈願と和船手こぎ競争

9月18日、愛媛県宇和島で「竜王祭」が開かれました。これは大漁の感謝と祈願をこめ、約300年前から行われている伝統行事です。

午前9時から宇和島市遊子の竜王島・竜王神社で「伊予神楽」を奉納。大漁旗で飾られた漁船30余隻が、島の周囲を行進しました。午後からは、遊子漁協8地区による対抗ゲーム。和船手こぎ競争、競泳、はごりこぎ競争に約800人の漁師さんが参加しました。ふだんは真珠養殖に活躍するヤマハ和船W-20FFが、この日は競技艇に早がわり。たくましい海の男たちによる手こぎ競争です。

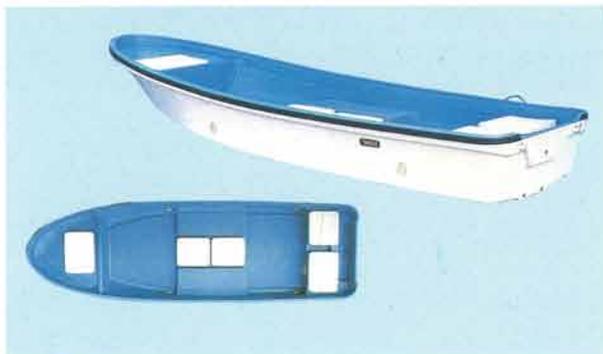
力のこもった競技と応援団の熱気は、あいにくの小雨を忘れさせるほどの勢い。宇和島は、大漁祈願と記念行事でにぎやかな1日でした。



新製品紹介

小型汎用和船のニューフェイス
フロアでの作業性は一段とアップ

ヤマハ和船 **YAMAHA W-16EF-5**



- あらゆる作業ができるフロア…イケスの高さを押さえたので、船内の移動や作業がしやすいのです。しかも従来のイケス機能、フロアの仕切り機能も兼ね備える使いやすい設計。
- イケスは2連式のタテ形だ円型状…船体の最深部に配置しました。仕切り板つきで、用途にあわせて使い分けられます。
- 船体は新型バランス設計…ハル形状は新型のバランス設計。スピード性と凌波性を高めました。

主要諸元 ●全長…4.82(m) ●全幅…1.52(m) ●全深さ…0.64(m) ●総トン数…0.82(t) ●艇体重量…210(kg) ●最大馬力…20(PS) ●最大積載量…0.50(t) ●定員…4(名) ●航行区域…限定沿海

新開発の養殖作業運搬船
頼りがいのある超幅広フロアが魅力

ヤマハ和船 **YAMAHA W-25CF**



- 25尺クラスでは最大の積載量…フロア面積は18㎡で余裕のスペースを実現。長尺物もラクに横置きできる広さ。艀でも2m以上の幅を確保しています。
- 細かい配慮の親切設計…スプレー防止と同時に、船内での作業性をアップするナックル部、水の入りにくい艀部ハッチなど各所に配慮が行き届いています。
- すぐれた走行性能が、作業能率を向上…抜群の安定性と同時に、十分な凌波性と施回性、さらに後進性を実現しました。

主要諸元 ●全長…7.67(m) ●全幅…2.50(m) ●全深さ…0.85(m) ●総トン数…1.50(t) ●艇体重量…610(kg) ●最大馬力…(2基掛けも可)75×1(PS) ●最大積載量…1.75(t) ●定員…12(名) ●航行区域…限定沿海

軽快な

“ラジカセ仲間”

ヤマハ発電機 **EF500S**



アウトドア・ライフに欠かせない仲間。海で、山で、川で、野原でポータブル発電機はあらゆるところで役立ちます。新発売ヤマハ発電機EF500Sは、“ラジカセ・タイプ”のデザインでこれまでの発電機のイメージを一新しました。スリムでコンパクト、持ち運びにたいへん便利です。軽快に使いこなしてください。

■主な仕様
●エンジン…4サイクルサイドバルブ強制空冷ガソリン ●総排気量…70.6cc ●使用燃料…無鉛ガソリン ●始動方式…リコイル式 ●出力…500W(60サイクル)・400W(50サイクル) ●定格連続運転時間…約4.4時間(50サイクル)・約3.6時間(60サイクル) ●重量…20kg ●寸法(全長×全巾×全高)446×200×315mm(ハンドル収納時) ●カラーリング…パーブリッシュブルーおよびチャビレッドの2色

■標準現金価格…¥78,000円

スポーティーで盛りだくさんな秋の一日
“ボートフィッシング・プラス・アルファ”を楽しもう

YAMAHA FISH-20

〈ニューモデル艇〉



ヤマハフィッシングボートのラインナップに20フィート級がくわりました。フィッシングボートの基本であるすぐれた安定性能を確保したうえに、水上スキーやランナバウトに求められる凌波性も良好。フィッシングではポイントまでの俊敏な走りが自慢です。キャビン付きで広いコクピット。またフロントウィンドシールドにガードパイプを装備するなど、ファミリーボートとして、ゆとりのある居住性をそなえています。

●主要諸元

全長	5.99 (m)
全幅	2.09 (m)
全深さ	0.82 (m)
船体重量	410 (kg)
推奨馬力	55 (PS)
最大馬力	60 (PS)
定員	6 (名)
航行区域	限定沿海

●オプション装備品
スタンレール式
オーニング式
ドライバーズシート用クッション
キャビンクッション式
スイッチボードハーネス式
(航海灯、ホーンを装備する場合に使用)
航海灯一式
ホーン式
タックルボックス
(釣用小物入れ、イケースの上部に乗せるだけで使用可)
●カラーリング
ハル/デッキ=ライトアイボリー
+ウイログリーンまたはライト
アイボリー+オレンジ

スタイリングには華麗さを、仕様には品格を
ソフトな乗り心地を約束するスティーブV船型

YAMAHA STR-19RX

〈ニューモデル艇〉



ドライバー、ナビゲーターそれぞれのシートの背面に2人分のリクライニングシートを配置。さらにスタンに2つのリアシート(バックレスト付)を用意して、合計6人分を使用しました。デッキサイドのないコクピットは実に広々としています。ウィンドシールドからの視界は十分。トランサムにはスイミングラダーを装備しました。海の楽しみをオールラウンドに広げる、ファミリーユースに最適の充実設計です。

●主要諸元

全長	5.81 (m)
全幅	2.27 (m)
全深さ	1.01 (m)
船体重量	560 (kg)
推奨馬力	115 (PS)
最大馬力	140 (PS)
定員	6 (名)
航行区域	限定沿海

●オプション装備品
パワレール式
スイッチボードハーネス式
(ホーン、ワイバー、航海灯を装備する場合に使用)
ホーン式
ワイバー式
航海灯一式
水上スキー用フック式
●カラーリング
デッキ: ホワイト
ハル: ホワイト

人気艇種FISH-22IIにヤマハディーゼルの“イン・アウト”を搭載
高い信頼性を秘め、省エネを狙う

YAMAHA FISH-22IIYD

〈ニューモデル艇〉



ブリッジ付のスポーティーなスタイリング。大型いけす、ロッドスタンド、広いキャビンなど本格的なフィッシング機能が、レジャー型フィッシングボートとして圧倒的な人気を博してきたFISH-22IIに、ディーゼル「ヤマハドライブD-220」を搭載した新艇です。安定した走航性能とすぐれた耐久性、そして省エネ——ディーゼルの魅力をしっかり盛り込んでデビューしました。

●主要諸元

全長	6.64 (m)
全幅	2.18 (m)
全深さ	0.98 (m)
船体重量	615 (kg)
推奨馬力	58 (PS)
最大馬力	58 (PS)
定員	7 (名)
航行区域	限定沿海

●オプション装備品
ホーン式
航海灯一式
オーニング式
ドライバーズシート用クッション
キャビンクッション
スタンレール
●カラーリング
ハル/デッキ=ライトアイボリー
+ビーチブラウン